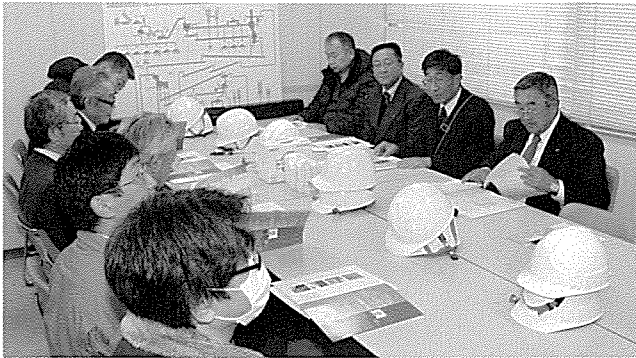


NEWS

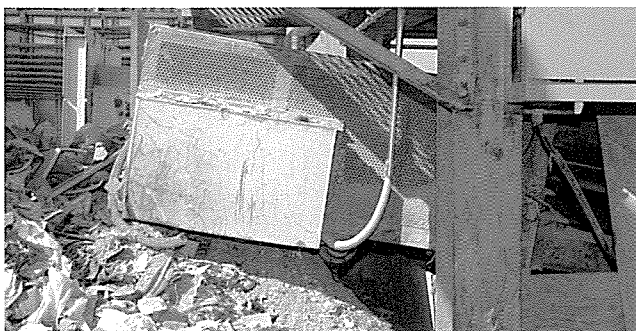
安全衛生委員会「安全視察・研修」開催



永一産商（株）において安全衛生会議を実施

安全衛生委員会（加山昌弘委員長）は、職場の中の安全衛生活動の取組を推進するために、会員企業への視察研修を数多く行い成果を上げてきました。今回は2月15日（水）に12名の参加を得て永一産商株式会社、株式会社星野産商本社工場を訪問し、工場見学と安全衛生の取組について研修しました。参加者は午前8時30分に日本特殊陶業市民会館（名古屋市中区）前に集合し、視察地に向かいました。

最初の視察先である永一産商（株）では、永井良一社長と永井弘児取締役から会社概要について説明を受けた後、永井取締役の案内で手選別を主体とした選別・破碎の混合廃棄物処理プラントを視察しました。処理プラントでは選別ラインにおける回転機への巻き込まれを防ぐ防止柵設置や、ホコリの拡散を防ぐミストの完備、受入ヤードでは人による選別時には重機の移動、稼動の中止など安全対策を



巻き込まれ防止柵（永一産商（株））

徹底していました。安全衛生方針としては、ISO 14001の環境方針に沿って実施されており、健康診断や特殊診断も行っています。また同社では、特典として無事故であれば月3万円を支給する制度があります。しかし、特典を得るために事故を隠した場合は、全体責任のペナルティもあります。これに対し永井社長は「無事故手当は会社にとっても大きな負担ですが、事故防止につながればこれ以上の喜びはありません。」と社員の安全を願う気持ちを語りました。

次に弥富市にある（株）星野産商本社工場を視察し、鶴山圭一専務取締役から安全衛生の取組についてお話を伺いました。同社は電気炉製鋼メーカーから出る製鋼スラグを処理し、電気炉酸化スラグ骨材として加工・製造・販売しています。安全衛生方針としては、永一産商と同様ISO 14001の環境方針に沿って実施されております。同社では安全衛生計画を立て毎月のスケジュールが生まれ、月1回の安全衛生会議、月2回の安全推進者による現場パトロール、年数回の安全衛生教育、年3回の手順書の見直し、作業前のミーティングではKYシートを用いて実施・会議を行い、年1回健康診断、その他随時ヒヤリハットの提出促進を行っています。

視察後、鶴山専務と安全衛生委員のメンバーとで気付いた点について話し合いが行われ、視察・研修会を終えました。



（株）星野産商において安全衛生会議を実施